



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月のテーマ

気象業務150周年記念企画

気象庁・気象台ってどんな仕事をしているの？ -Part2-

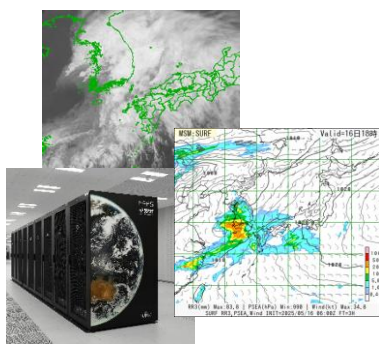
— 『予報』の仕事 —

気象庁は、1875年（明治8年）に東京気象台として気象業務を開始してから、2025年（令和7年）で150年の節目を迎えました！この節目に合わせて、はれるんマガジンでは気象庁・気象台の仕事や歴史を連載でご紹介します！第2回は、気象を監視・予測し天気予報や警報などを発表する福岡管区気象台での『予報』に関するお仕事をご紹介します。

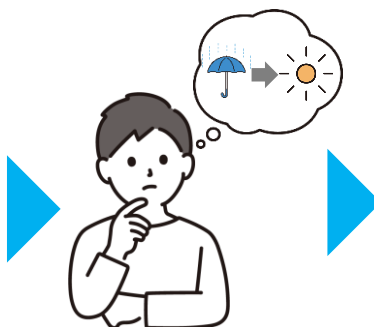
■九州北部の気象を監視し予測する！

福岡管区気象台では、九州北部地方（山口県を含む）の山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県の天気予報や警報などを担当しています。

予報官は、気象衛星が撮影した雲の様子やアメダスでの観測データなどで24時間365日体制で刻々と変化する天気の推移を監視しています。予報官はそれまでの天気の推移とスーパーコンピュータが計算した将来の大気の状態から、今後の天気の見立てを考え、天気予報や警報・注意報などの防災気象情報を発表しています。スーパーコンピュータによる予測の精度は年々進歩していますが、最後に決断するのは経験を積んだ予報官です。



観測データ・スーパーコンピュータの計算結果など



予報官



気象庁ホームページ、テレビなど

天気予報・防災気象情報ができるまで

発表した防災気象情報は気象庁ホームページ、テレビやラジオ、スマートフォンアプリなどを通じて、みなさまのもとに届けられます。

なお、福岡管区気象台の中にある天気予報や警報を発表している部屋はこのようになっています。



天気予報や警報を発表している部屋
(左：観測データなどの監視、右：天気予報を考える予報官)

■県や市町村、人々へ危機感を伝える！

気象台では、天気予報や警報の発表だけでなく県や市町村、人々へ危機感を伝えるための記者会見や気象解説も行っています。

災害に繋がるような大雨や台風の接近が予想された場合は、注意報や警報などの防災気象情報を発表し、関係機関と共に記者会見を開催して報道機関を通じてみなさまに注意・警戒を呼びかけます。

また、地域ごとの専任チーム「あなたの町の予報官」を結成して、県や市町村における避難情報の発令など防災対応の支援も行っています。この取組の1つとして、「あな町TV」の名称で予報官が県や市町村の防災担当者向けにオンライン気象解説を行っています。



福岡管区気象台で関係機関と共に
開催した記者会見



「あな町TV」で気象解説する予報官

「あな町TV」での解説資料の例

次号は福岡管区気象台の『観測』の仕事をご紹介します。お楽しみに！



はれるん・気象台からのお知らせ



■「はれるんカード」特別版のお知らせ

気象庁では、全国の気象庁施設を訪れた方に、その施設の紹介や豆知識を記載したデジタルカード「はれるんカード」をお配りしています。

今年、令和7年（2025年）は気象業務150周年を記念して特別なカードもご用意しました。ぜひ、お近くやお出かけ先の気象庁施設を訪ねて、はれるんカードをゲットしてみてください。

はれるんカード紹介
ページ(気象友の会HP)



■「防災・お天気フェア2025」開催時期のお知らせ

福岡管区気象台では、気象庁・気象台の仕事や気象・防災について広く知っていただくためのイベント「防災・お天気フェア」を年1回開催しています。

例年、7月に開催しておりましたが、今年度は10月ごろに開催する予定です。詳しい情報は決まり次第、気象台ホームページなどでお知らせします。

福岡管区気象台
ホームページ



ご意見をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka_bousaichosa@met.kishou.go.jp



2025年、気象業務は150周年を迎えました！

次回の発行は2025年7月の予定です。